

令和7年12月23日

関連史跡を巡る「宇喜多の歩き方」を掲載した 戦国宇喜多家パンフレットを作成しました！

宇喜多家ゆかりの史跡を多くの人に巡ってもらいたいとの思いから、このほど戦国宇喜多家のパンフレットを改訂し、県内外29市町の宇喜多家や同時代の関連史跡を紹介する「宇喜多の歩き方」を収録したパンフレットを制作しました。

1 内容

- ・宇喜多家の人物紹介(宇喜多直家、円融院、宇喜多秀家、豪姫)
- ・宇喜多の歩き方(戦国宇喜多家を顕彰する会・戦国宇喜多家の大河ドラマ誘致を応援する自治体の会加盟の29市町の宇喜多家ゆかりの史跡、同時代の関連史跡の紹介)
- ・戦国宇喜多家を顕彰する会チーフアドバイザーの磯田道史氏のメッセージほか

2 サイズ

A4サイズ・8ページ・両観音開き

3 配布場所

- ・岡山市施設(区役所、支所、地域センター、ふれあいセンター、公民館、図書館等)
- ・岡山城(岡山市北区丸の内)
- ・岡山県内市町村

4 その他

詳細は別紙にてご確認ください。

【問い合わせ先】

岡山市 観光振興課 水岡・風早 直通086-803-1332 内線4532・4533

誇り高き幻の戦国大名家

歴史学者（岡山市出身）

その子・宇喜多秀家も注目だ。端正な武将で美麗なセンスをもつ若武者。最年少の「豊臣五大老」でもあった。義にあつく、関ヶ原合戦では西軍主力を率いて敗れた。人柄のせいもあり、家康が助命。八丈島に流され、家康・

五大老中、豊臣のため石田三成と関ヶ原本戦で戦ったのは、宇喜多だけ。しかも、徳川の大名なんかに成り下がらなかった。誇り高くてカッコいいが、江戸期の大名でなかったせいで史料が少なく、謎の多い戦国大名家だ。そこがまた、私にはたまらない。

五大老中、唯一、
大河ドラマになっていない家でもある。
歴史ファンの声援が頼りだ。
よろしく頼む！

宇喜多関連の史跡(A～D)は
中面と合わせてご覧ください。

戦国宇喜多家 大河ドラマ実現に応援を!

今すぐ簡単！WEB署名
「宇喜多の大河」特設サイトへ→

署名された方には「宇喜多家 家臣団証」プレゼント。

兒
宇喜多家 家臣団証



〒700-8544 岡山県岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市観光振興課内 TEL:086-803-1332

宇喜多直家・秀家
わしらも
大河に
なりたいが!

宇喜多大河ドラマプロジェクト



UKI-TA

宇喜多の大河

——宇喜多直家·秀家——

さあ、大河ドラマ実現へ。

ともに進もう。
この道の先にどんな結末が
あろうとも。

関連史跡を巡る
「宇喜多の歩き方」
収録!

豊臣五大老中、唯一、
大河ドラマになっていない家でもある。
歴史ファンの声援が頼りだ。

よろしく頼む！ —— 磯田道史

※抜粋（応援メッセージの全文は裏面へ）

歴史学者（岡山市出身）



宇喜多直家

歴史に葬られた英傑

1529年に砥石城（岡山県瀬戸内市）に生まれたとされる。6歳の時に居城を島村氏に攻められ、以後、住まいを転々とする人生を送ったという。その後、浦上宗景に出仕し、乙子城主に抜擢。のち、舅の中山勝政を謀殺したと伝わる（浦上宗景の指示といわれる）。同時に仇敵・島村氏を討ち、祖父の領地を奪回。以後、亀山城を居城に勢力拡張に努めた。1568年頃、備前に進出してきた三村氏を撃退。さらに岡山の城を手に入れ、大改修を施して入城。ここに城下町・岡山の歴史が始まった。その後、浦上宗景を追放して備前を統一し、美作南部、播磨西部も領有。中国地方に進攻してきた織田方と対峙するが、羽柴秀吉を通じて帰属。毛利勢と激しい攻防を繰り返し、1582年（または1581年）に病没した。

虚像からの解放へ

直家は、斎藤道三、松永久秀と並ぶ戦国三大梟雄の一人といわれてきた。しかしそのイメージは、江戸時代になって、当時の儒学的観点から敗者である直家を悪役のように語り伝えたことで始まったとされる。ゼロから独力で50万石大名となり、岡山の礎を築き、織田・毛利の超大国と渡り合った直家こそ真の姿。英傑であるのは間違いない。



実は部下思いで先見的！

自ら荒地を耕し、食糧不足の折にはともに絶食するなど部下思いの面もあった。また、山城が主流の時代に平地の岡山に城を築き、西国街道（山陽道）を付け替えて商人を呼び寄せ、城下町の礎を築くなど、時代の先を見据える目があったと言える。

独力で50万石大名となった智勇兼備の将、直家。関ヶ原で唯一徳川方と

円融院（おふくの方）

直家の妻

幼き子と家を守った強き母

戦で滅んだ三浦氏の妻とされ、のちに宇喜多直家の妻となった。俗説には「おふく」とされる。幼くして跡を継いだ息子・秀家と宇喜多家臣団をまとめるとともに、羽柴秀吉の力を背景に周辺の武将に睨みをきかせるなど、女城主に近い時期があったとも言われる。それを物語る資料もある。宇喜多・羽柴方と毛利方の国境を定める交渉で、毛利方の安国寺恵瓊は、「（秀吉方交渉役の）黒田官兵衛、蜂須賀正勝が例え了承しても、秀家の母が秀吉に手紙を書いて直訴したら、決定が覆ってしまう」という書状を国元に送っている。



宇喜多秀家

忠義に生き 波乱の人生を歩んだ 五大老

1572年に誕生し、直家死去により幼くして家督を相続した。四国攻め、九州攻め、小田原攻めなどに出征し、秀吉の天下獲りを支えた。また、海外出兵時には戦地から指示を出し、岡山の城下町づくりにも励んだ。1597年頃には岡山城天守が完成。後世、五大老とされる豊臣政権の中心を担う大名となった。1600年の関ヶ原の戦いでは、様子見を決め込んだり東軍につく武将も出る中で、豊臣方として忠義を貫き、西軍の最大兵力で出陣。大将格として奮戦するも敗退し、島津氏を頼って現在の鹿児島県垂水市に隠れるも、八丈島へ配流となった。以後、本土に戻ることなく、関ヶ原を戦った大名としては最も長く生きて1655年に死去した。



実は武骨で、秀吉からの信頼大

秀家は、秀吉の天下平定の戦には常に従軍し、大陸出兵では総大将として活躍した。また、妻となった豪姫は秀吉最愛の娘とも言われ、その夫として秀家を選んだ秀吉の人物眼からも、秀家の人となりが推察できる。秀吉は、徳川家康らの次の世代として、秀家に豊臣秀頼後見の役割を期待していたのではないかという考えもある。

八丈島に佇む 秀家と豪姫の像

八丈島の秀家と、豪姫の再会はずいぶんなかつた。それを悲しんだ後世の人々によって、現在、八丈島には二人が仲睦まじく並ぶ座像が設置されている。



※個人提供

刃を交えた五大老、秀家。ふたりの宇喜多を、大河で見たいと思わないか？

豪姫（樹正院）

秀家の妻

明治維新まで続いた夫と子孫への思い

前田利家と芳春院（おまつ）の娘、羽柴秀吉の養女であり、宇喜多秀家の妻。豪姫が床に臥せ、狐が取り憑いたせいだと言われた際に、秀吉は、稲荷の総本宮・伏見稲荷大社に対し「取り憑いた狐を退散させよ。さもなくば国中で狐狩りをして狐族を滅ぼすぞ」と激怒したとされ、秀吉の溺愛ぶりが伺える。八丈島へ配流となった秀家に米や生活物資を送り、自身は再婚することなく一途に夫と子らの身を案じ続けたと言われている。その思いは死後も継承され、前田家からの仕送りは秀家の子々孫々へ及び、明治維新まで続いた。



画：三善千愛



1 農作市 三星城 さんせいじょう

東美作一帯を治めた奥平氏の居城。奥平頼昌は宇喜多家の家臣として活躍。1579年に宇喜多氏により滅ぼされた。小笠原秀元が建て替えた。

宇喜多氏家臣館
0858-36-3034



2 京儀町 大別当城 おおべつとうじょう

新庄藩の支城である別当式により、奥平氏を治めた別当氏として築かれた。奥平氏は、江戸時代、毛利氏・宇喜多氏に仕えた。

奥平氏家臣館
0858-36-3034



3 鹿央町 岡城 おかじょう

一説には、天正年間、宇喜多家の家臣・岡家頼昌が、水堀を築き、奥平氏の領地、備前守を司った。この城は、奥平氏に仕えていた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



4 津山市 岩屋城 いわやじょう

宇喜多氏や奥平氏の領地として築かれた。奥平氏に仕えた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-32-2082



5 高松町 鷺山城 さぎやまじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



6 久米南町 興善寺宝篋印塔 こうぜんじょうほうぎょういんとう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



7 鹿野町 樹形城 じゅけいじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



8 真庭市 湯原温泉 ゆわらみづ

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



9 新見市 樺城 しかじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



10 高松市 備中松山城 びっちゅうしょうじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112

岡山・全国ゆかりの地

宇喜多の歩き方



岡山県内、全国に、今なお残る宇喜多の歩き道。足跡を辿り、彼らが築いた歴史の地を訪ねよう。中には雄偉な城の遺構もある。のびやかな風景、自然の美しさ、そして、宇喜多の歴史を辿る旅へ。

岡山県内、全国に、今なお残る宇喜多の歩き道。足跡を辿り、彼らが築いた歴史の地を訪ねよう。中には雄偉な城の遺構もある。のびやかな風景、自然の美しさ、そして、宇喜多の歴史を辿る旅へ。

宇喜多直家・秀家と同時代の戦国史跡を巡る旅へ

岡山県内、全国に、今なお残る宇喜多の歩き道。足跡を辿り、彼らが築いた歴史の地を訪ねよう。中には雄偉な城の遺構もある。のびやかな風景、自然の美しさ、そして、宇喜多の歴史を辿る旅へ。

宇喜多直家・秀家と同時代の戦国史跡を巡る旅へ

岡山県内、全国に、今なお残る宇喜多の歩き道。足跡を辿り、彼らが築いた歴史の地を訪ねよう。中には雄偉な城の遺構もある。のびやかな風景、自然の美しさ、そして、宇喜多の歴史を辿る旅へ。



14 矢掛町 猿掛城 さるかけじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



19 宮内町 おふくの方隠れ地 おふくのかたかくれち

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

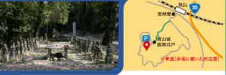
奥平氏家臣館
0858-36-3112



15 津口町 安芸守山城 あんぎしゅしやうじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



20 玉野市 常山城 じょうしやうじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



16 総社市 幸山城 さいわいじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



21 赤穂市 周匝茶臼山城 ちゅうさちやうじょうしやうじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



17 倉敷市 下津井城 しげふねじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



22 和気町 天神山城 かんてんしやうじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



18 早島町 宇喜多堤 うきだつち

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



23 岡前市 三石城 さんいしじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



24 瀬戸内市 砥石城 といしじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



25 岡山市 岡山城 おかやまじょう

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



備前福岡の町並み

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



備中高松城

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



亀山城

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



A 東京都八王子 秀家公・豪姫夫婦像

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



B 岐阜県美濃市 宇喜多秀家公住居跡

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



C 石川県金沢市 金沢城公園

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112



D 鹿児島県鹿児島市 宇喜多秀家公住居跡

奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。奥平氏の領地として築かれた。

奥平氏家臣館
0858-36-3112

そして、宇喜多の史跡は全国へ